



「三重ぐるり」のコーナーでは、毎月テーマを1つ設け、そのテーマに沿った三重県内の市民活動団体を紹介しています。今月のテーマは【食の安全・安心、健康、アレルギー】。課題解決のためにさまざまな活動が行われています。食生活や健康について取り組んでいる団体の活動を県内各地の市民活動（支援）センターを通して集めました。

みずほのおかげ市場

情報提供：みえきた市民活動センター



イベントスペースもある、市場の中の様子です。

体が喜ぶ食品を食べていますか？プロの農家が安心安全にこだわって作った農産物・農産加工品を消費者に知ってもらおうとして作った農産物直売所です。生産者・消費者が共に語り合える直売所をめざしています。地元の原木を使って栽培した椎茸など、野菜のどれひとつとっても、農家の想いがつたわってきます。ここの野菜を使ってつくった自家製のお漬け物は、とても評判になっています。ぜひ一度、寄ってみてください。直売所で扱っている農産物などを使った料理教室や農業生産者との交流会を開催したり、地元の北勢線をめぐるウォーキングと協働の企画を行ったり、直販所の中に寄せ植えなどいろいろなことができるスペースをつくっていたりしています。子どもたちがうさぎとふれあえる場所もあります。農場を開放し低農薬・有機肥料による栽培を体験していただきたいと思います。

ひと言 PR!

プロがつくったこだわり野菜や有機栽培米など、体に良い食べ物を届ける市場です。コミュニケーションを大切にしています。おいでの折には、ぜひお声をかけてくださいね。作物のいろいろなお話しをお伝えします。

いなべ市員弁町北金井吉備川 2500 番
☎ 0594-37-0206
✉ mizuhonookage@hotmail.co.jp

アレルギーっ子の会ぽかぽか

情報提供：津市市民活動センター



子どもたちの交流の場、クリスマス会

「アレルギー疾患に直面する子どもとその家族に対する社会の理解を深めること」を大きなテーマとして活動しています。社会の情報化に伴い、アレルギーに関する情報を得やすくなったことで、会員数はこの2年程で減少傾向にありますが、一方で、会って話すことができる当会の存在が重要であることには変わりはありません。実際に会って話せば、アレルギーについての話は尽きず、しみみりせずには笑ってしまいながら、辛くもある経験を互いに話せる場となっているからです。子どもたちにとっても、互いの状態について話し、情報交換のできる場となっています。また、災害時におけるアレルギーを持つ子どもへの対応について伝える活動を、津市の防災大学などで行っています。食物アレルギーによって炊き出しや備蓄食材を食べることができないという状況が起こり得ますが、炊き出しについてはアレルギーの原因となる食材を加える前に取り分け、備蓄食材については食べられるものを選択することができれば、「食べられない」状況を回避することができるのです。

ひと言 PR!

食物アレルギーの心配をせずに「みんなで一緒にものをおいおいと食べる」ことを楽しめるよう、クリスマス会、バーベキューなどの交流会を開催しています。交流会は、会って話すことができる機会としても重要です。

あおむしの会

情報提供：松阪市市民活動センター



料理教室の様子

2012年より、子育て世代の母親が集まり、子育てに役立つ食や暮らしの知識を得るための勉強会やイベントを開催してきました。活動をはじめたきっかけは、東日本大震災でした。当時、大津波、福島原発事故など2次災害、3次災害まで被害が及び、特に放射能が及ぼす影響についてはさまざまな情報が溢れました。そのとき、「子どもの健康を守るためにちゃんと知識を得たい」と有志の母親らが集まり、自主的に原発や放射能の知識を学ぶ勉強会を始めたのがスタートです。その後、子どもと母親自身が一緒に楽しみながら、身体や心が元気になれることを大切に、料理教室、音楽イベント、親子整体教室などを企画・運営してきました。料理教室では、飲食業に携わるメンバーが先生を務め、安心・安全な調味料や食材の選び方を伝えながら、一緒に料理することで母親同士の交流を深めてきました。

ひと言 PR!

子どもの未来を考えると、社会で起きていることに無関心ではいられません。知識を持ったうえで判断できる“賢い母”になり、また母ならではの視点で周りの意識を少しずつ変えていきたいと、できることから取り組んでいます。

☎ 090-1417-2351 (代表・前田さん)